



高知県立盲学校

校長室だより



No.1
平成31年4月26日

～「笑顔」「夢」「感動」あふれる学校を目指して～

正岡子規が「故郷や どちらを見ても山笑ふ」と詠ったように、芽吹きの季節を迎えた春の山は、見ているわたしたちも笑顔になります。ご入学、ご進級おめでとうございます。平成31年度（令和元年度）、高知県立盲学校は昨年度より2名増え、23名の幼児児童生徒でスタートしました。今年度は新入生が多く、幼稚部1名、小学部2名、中学部2名、高等部3名の8名を迎えた入学式を、賑やかに行うことができました。また、中学部3年生に転入生も迎えています。

昨年度に引き続き校長として勤務させていただくことになりました。昨年度は、創立90周年ということで、保護者の皆様には寄付へのご協力や、記念式典、祝賀会への出席等、お世話になりました。今年度も「笑顔」「夢」「感動」あふれる学校を目指し、取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



「視覚障害教育の専門性を発揮し、生きる力を育む確かな教育を推進する学校」を目指し、「100年目のチーム高知盲の新たな一歩！ ～高めよう専門性、広げよう地域・社会に～」を合言葉に、今年度は取組を進めていきます。昨年度の学校評価で、保護者の皆様からいただきました、学校がやっていることが十分に見えてこないというご意見につきまして、情報発信の方法や手段、時期等につきまして、しっかりと検討して、保護者の皆様に学校の様子を知っていただけるよう工夫していきたいと思ひます。ご意見、お気づきの点等ございましたら、是非お聞かせください。

本校の目指す幼児児童生徒像

新しい学習指導要領においては、変化する社会に対応できる「生きる力」の育成が重要視されています。本校においても、「夢に向かって『自らまなび』『社会とつながり』『たくましくあゆむ』生きる力を育てる教育」に取り組んでまいります。

目指すのは、【知】「主体的、意欲的に、学び続けることができる」【徳】「周りの仲間とのつながりを大切に、社会参加できる」【体】「自ら障害に向き合い、自己実現に向けて積極的に行動できる」幼児児童生徒です。目指す幼児児童生徒の育成に向け、各学部、寄宿舎において、それぞれ目標を設定し取組を進めています。日々の授業や行事等、学校生活全体を通して、「生きる力」を育てていきますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



外部専門家活用事業について

外部の専門家に学校に訪問いただき、実際の授業や活動場面の見学をとおして、支援の方法について指導・助言を受け、教員の専門性を向上させ、指導の充実を図る事業があります。昨年度は、言語聴覚士（ST）、作業療法士（OT）、理学療法士（PT）、視能訓練士（ORT）の方に訪問していただき、アドバイスを受けました。

各担任からも活用についての話があると思いますが、ご家庭からのご要望についても伺いますので、お知らせください。

どんな匂いがするかな～

しっかり見ること、触って理解することを大切にして取り組んでいる視覚障害教育において、「匂い」も育てたい感覚の一つです。教室を回っていると、先生方が色々な工夫をして「匂い」を届けています。クッキーの甘い匂い、花のいい香り、幸せな気分になります。

